

感染が減少傾向の今だからこそ、新たに第6波を引き起こさないよう、戦略的方針の確立と医療・公衆衛生の体制強化が必要です。そうしてこそ、経済活動との両立が可能です。

大規模検査

「陰性確認」をすすめる「千葉方式」を提案しました

感染拡大を封じ込めるにはワクチン接種と合わせて、無症状感染者を確認・保護する大規模検査が重要です。

日本共産党県議団は、陽性者が安心して療養できる環境を整えるとともに、いつでも、誰でも、何度でも無料で検査し、「陰性」が確認された人たちが日常の社会生活や経済活動を送る「千葉方式」を提案しています。



保健所

「過労死ライン」が多発 体制強化はまったなし

第5波が押し寄せた8月の保健所職員時間外労働は80時間が多発、100時間超も27名、最長は214時間にも上りました。今後の感染拡大にそなえ職員増員の補正予算を求めましたが、県は体制整備を検討中と述べるにとどまりました。

2021年総選挙 野党統一候補が4つの選挙区で勝利

共闘の発展と公約実現に全力を尽くします

先の総選挙で日本共産党は「野党共闘で政権交代を始めよう」を訴えたばかりでした。比例代表選挙では議席を後退させ、残念な結果となりました。

小選挙区選挙では「共通政策」と「政権協力」の合意のもと、県内13選挙区のうち10選挙区で野党統一候補が実現。多くの選挙区で大接戦となり、大臣経験のある自民党候補を破るなど4つの選挙区で野党統一候補が勝利しました。

日本共産党は、これからも市民と野党の共闘の発展に力を尽くすと同時に、総選挙で掲げた「共通政策」「4つのチェンジ」（貧困と格差の是正、気候危機打開、ジェンダー平等、憲法と平和外交）などの公約実現のために、国政・県政の場で全力で奮闘する決意です。



医療体制

感染した妊婦は誰でも「原則入院」

柏市で妊産婦が自宅で出産し、新生児が死亡したニュースは全国に大きな衝撃を与えました。県は入院対象を妊娠36週での線引きや「入院優先度判断スコア」などで入院の可否を判断しています。2つの命を守るためには、妊婦は「原則入院」とすべきです。

公的病院つぶしではなく、全ての医療機関に支援を

政府は、県内10病院を名指して統廃合を迫り、県も地域医療構想会議で丁寧に議論するとしています。公立・公的病院を含む多くの医療機関はコロナ患者入院受け入れの有無に関わらず、「受診控え」などで経営悪化となる中、地域医療を支えています。必要なのは全ての医療機関への減収補填や医療体制の確立です。

自宅療養ゼロ・臨時医療施設1000床へ 今から開設準備が必要です

県内でも最大時1万人を超える方が自宅療養となり、在宅死亡も相次ぎました。県は「爆発的な感染拡大が発生した場合の病床不足に備え」として、臨時医療施設1000床を昨年予算化しましたが、たった66床しか確保していません。「原則入院・ホテル療養」とするよう県内自治体や医療関係機関との協議の早期開始を求めました。

9月県議会 政党の主な意見書・請願への態度

請願および発議案名 ○…賛成・採択 X…反対・不採択	共産党	自民党	公明党	千葉民主 立憲民主
消費税5%への引き下げを求める意見書提出を求める請願	○	X	X	X
米価大暴落の打開を求める意見書	○	X	X	X
新型コロナウイルス感染症対策の診療報酬経過措置延長に関する意見書提出を求める請願	○	X	X	○
新型コロナウイルス無症状感染者への大規模検査を求める意見書	○	X	X	X
2030年温室効果ガス排出削減目標の大幅引き上げを求める意見書	○	X	X	X
選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書	○	X	X	○